

1. 代議員会の開催状況

【通常代議員会】

○第38回 令和4年7月12日

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度年金経理及び業務経理の決算並びに定例監査報告について

第3号議案 理事長専決処分事項の報告・承認について

○第39回 令和5年2月9日

第1号議案 令和5年度事業計画ならびに予算案について

第2号議案 令和5年度資産運用について

第3号議案 基金規約の一部変更について

2. 資産運用状況について

令和4年度の運用環境は、内外金利差の拡大による円安の影響や景気後退への不安の薄れ等から内外ともに株価は若干上昇しましたが、期待していた収益率には届きませんでした。

債券については内外ともに大きく評価減となりました。国内は日銀の金融政策の調整を受けて金利が上昇したこと、海外はインフレ抑制のために欧米中銀が政策金利を短期間で急激に引き上げを行ったことが主因となります。特に、海外については、内外金利差拡大に伴うヘッジコスト上昇が、途中で円安の進行が縮小したこともあり、円安の効果を飲み込み大幅な評価減となりました。

このような従来には想定しえなかった市場の動きが年度末まで継続したことから、年間を通じて生保一般勘定をベースに債券を中心とした株式との逆相関を利用した低リスク運用の手法では対応しきれない状況となり、債券運用が想定リスクを超えて大幅に下回ったことで、予定利率プラス1.5%を大きく下回り、年間の最終運用利回りはマイナス1.83%となりました。

なお、資産運用委員会については、運用状況の確認、商品解約・新規投資、基本資産配分等を議題に4回開催しました。

3. ライフプラン指導の運営

令和4年度のライフプランセミナーの開催状況は、ソレイユ15回（参加者184名）、事業所11回（参加者188名）、オンライン5回（参加者301名）、合計31回開催し、参加者は673名（対前年+235名）、56歳対象者の参加率は72%（対前年+24%）となりました。

また、過去2年のコロナ影響による未受講者（受講参加率27～48%）に対して、積極的にオンラインやソレイユの追加・臨時開催等によるフォローを行い、約65%（コロナ前と概ね同水準）まで受講率を引き上げました。

ライフプラン指導の事前展開については計画通り、50歳時資料を698名、55歳時資料を793名の方に展開しました。

また、参加者のデータやアンケート結果の分析等を行い、令和5年度以降のライフプランセミナーへ反映するため、資料の一部見直しやオンラインの動画コンテンツのブラッシュアップを行い、参加者の満足度や理解度を高める取り組みを実施しています。

4. 保養施設の運営

当該年度は定期補修の一環として、ソレイユ伊豆の本館の温水ヒーターおよび配電盤機器、別館の電気温水器の更新工事を実施し、設備の維持・改善を行いました

ソレイユ伊豆利用者数は、コロナ禍の落ち着きとともに、ソレイユ伊豆の利用促進や魅力の発信、FeWare や基金HPなどを活用してのPR活動の効果もあり、3, 527人（対前年+1, 835人）と回復基調となりました。

5. 職員教育・啓蒙の実施

個人情報保護法、企業年金税務、コンプライアンス、その他の法令改正に関する事項に関して、企業年金連合会や企業年金連絡協議会、信託銀行等受託機関のWeb 動画配信研修を受講するなど、職員の教育・啓蒙活動を実施しました。

6. 企業年金関係団体との連携による活動

企業年金連合会評議員会を通じて、年金制度全般に亘る課題について厚生労働省へ意見・要望を発信するとともに、企業年金連合会運営に纏わる諸課題の検討に参画しました。

また、企業年金連絡協議会での活動や他基金との交流により、年金に係る情報交換を行い、適切な情報発信や業務改善、スキルアップに努めました。

以 上